

教育学部特別支援教育コース(教職科目)カリキュラムマップ					
養成人材	教職及び教科に関わる学問並びに芸術・スポーツ諸領域の総合的な研究及び教育を通して広く教育の発展に寄与し、主体的で豊かな人間性を基盤としつつ教職に必要な専門的な知識・技能を身に付けた、理論及び実践の両面にわたる力量ある質の高い教員の養成				
学位授与の方針	①専門的な深い知識の修得に関連する事柄 ○課程・コース・専修等ごとに定められた教育に関する専門的な知識・技能 教職に関する専門的な知識・技能 教科や専門分野に関する専門的な知識・技能 ②専門性のある幅広い基本的知識の修得に関連する事柄 ○教育の基盤となる基本的知識、態度、能力 日本国憲法に関する基本的な理解 心身の健康に関する基本的な理解と態度 人文学・社会科学・自然科学に関する幅広い理解 英語を用いて意思を疎通させる能力 情報リテラシーとプレゼンテーション能力 ③学部における人材養成の目的に合致した資質・能力の獲得に関連する事柄 ○力量のある教員に必要な知識・技能を活用できる能力 教科や専門分野に関する知識・技能を指導に生かすための方法的技術 教育実践を通した子供理解と実践的指導力 ○教員に求められる人間性と社会性 教員としての使命感や責任感、教育的愛情 教員としての社会性や対人関係能力 社会貢献への強い意欲 学び続ける姿勢				
年次	授業科目	到達目標	教育目標1:教育 学部では、力量 のある質の高い 教員養成を主眼 とする。	教育目標2:教育 学部では、課程 専修分野ごとに 専門的教育を行 い、教職の専門 性と学問・文化 の専門性の両方 を修得させる。	教育目標3:卒業 要件として教員 免許の取得を必 修とし、教員免 許・資格の取得 に必要な教育課 程を編成する。
1	教職入門Ⅰ	・今日の学校や教育が抱えている課題を、社会と関連づけて捉えることができる。 ・教師が担う教育的役割を理解し、教育の可能性について考えることができる。 ・教師が果たす社会的な使命について自分の考えを持つことができる。	◎	○	◎
	教育学概説A(本質)	「教育」とは何かについて、その思想と歴史的展開の視点から理解を深めること。	◎	○	◎
	教育学概説B(制度)	「教師」という存在を通して、学校や地域との関わりの中から教育制度をとらえる視点を持ち、そのしくみと歴史的展開について理解を深めること。	◎	○	◎
	特別活動論	生徒が成長するための「特別活動」とは何かを理解し、そのための教師の役割について考えられるようになる。	◎	○	◎
	教育心理学概説	心理学の基礎的知識を学び、教育への活用法を考える力を養う。	◎	○	◎
	初等国語科概説	・国語の授業に関わらず、学級経営や給食・清掃の時間、子どもたちとのやり取り等、現場で直面するあらゆる問題や状況は、コミュニケーションを不可欠とする点で全て「ことば」の問題として捉えられるという点を理解すること。 ・学級経営と授業実践を相互に深く関連した問題として捉えられるようになること。 ・現場で直面する多種多様な問題場面に対してどう向き合うか見通しを持てるようにすること。	◎	○	◎
	初等社会科概説	社会科は、地理・歴史・公民など様々な分野からなる複雑な教科内容を持つ。この授業では、社会科にかかわる様々なテーマを、担当教員がわかりやすく解説する。それによって、受講者が、社会科で扱う教科内容の重要性や幅広さ、教員が示した各分野についての知識について、一程度理解することが目標となる。	◎	○	◎
	算数科概説	算数教育の研究動向のうち、学力調査と授業研究について理解する。	◎	○	◎
	初等理科概説	自然科学の基本的な知識、考え方について理解を深めることを目標とします。理科において求められている、観察・実験の技術を習得するため、実践的な活動を行うことを取り入れた授業も行うことがあります。	◎	○	◎
	初等音楽科概説	小学校音楽を指導するための基礎的能力の修得。	◎	○	◎
	図画工作科概説	1)図画工作科の目的及び意義を理解する。 2)図画工作科を指導する上で必要不可欠な基礎的知識及び技能を修得する。	◎	○	◎
	初等体育科概説	小学校の体育教員としての最も基本的な知識を理解する。 小学校教育の中での体育の意義と役割について理解する。 身体運動を教えることの意味と意義を理解する。	◎	○	◎
	初等家庭科概説	小学校の家庭科の学習内容について理解する 生活のなりたちや生活上の課題について説明することができる 生活主体者として自分の生活を様々な角度から眺め、理解する	◎	○	◎
	生活科概説	教育学における生活科・総合学習の意味を理解できること	◎	○	◎
	ICT活用の理論と実践	・学校教員として、教授活動全般および学級・学校経営における問題解決の手段の一つとして情報技術を活用することができる。ICT活用指導力を高めるための見方考え方を知る ・学校教員が持つべき資質能力の一つとしての情報活用能力として、手段と目的を区別する見方、教育目標のよりよい達成のためにICT活用の考え方を知る ・実際によりよい教育目標達成のためにICT活用を工夫した授業の設計と模擬授業の実習体験を通して座学での学びを深める	◎	○	◎
	総合的な学習指導法	総合的な学習の理念について深く理解し、発展的な総合的な学習の実践に結びつくような教材開発、カリキュラム開発の方法を身に付ける。具体的な実践例などを吟味しながら、身近な素材や、地域の自然・社会・課題などの探究について学び考え、指導法の実践について理解を深める。	◎	○	◎
	初等英語科概説	小学校における英語活動・外国語(英語)科の基盤となる、各分野での基本的知識を身に付ける。授業実践に必要な英語運用力と、英語に関する背景的な知識を獲得する。	◎	○	◎
	教育方法・課程論	教育方法学の基礎理論を学び、方法の分析、批判、反省、構成の力を養うことを目標とする。	◎	○	◎

2	道徳教育論	「特別の教科 道徳」が設置された社会的背景を理解する。その上で今日求められる学校内外における道徳性の教育の本質について理論と実践の両面から考察を深める。最終的には教職について時に道徳性の教育をどう進めるかの具体的なイメージが持てる。	◎	○	◎
	生徒・進路指導論	・児童、生徒にとっての学校の意味と、そこでの活動及び生徒指導と・進路指導について理解する。 ・教師にとっての生徒指導と進路指導の意味について理解する。 ・地域社会の中での子どもの育ちとそこでの支援について理解する。 ・教育における心理学の知見を理解し、今までの自分の経験と結びつけて考える。	◎	○	◎
	教育相談	教員として困難な事例に出会った時に専門家にリファーするか、自分で対応できるかの判断がつくこと	◎	○	◎
	初等国語科指導法	国語科教育の現状について自分の主観を使って理解し、自他の経験を参照しながらふさわしい指導方法を考察する力をつける。	◎	○	◎
	初等社会科指導法	初等社会科の性格・授業づくりの基礎について理解・習得することができる。	◎	○	◎
	算数科指導法	「算数を教える」とはどのようなことであるかを理解する	◎	○	◎
	初等理科指導法	・小学校学習指導要領における理科の目標及び主な内容並びに全体構造を理解する。 ・小学校理科における観察・実験の指導法を習得し、それらを教材研究に活用できる。 ・個別の学習内容について指導上の留意点を理解する。 ・理科の学習評価の考え方を理解する。 ・子供の認識・思考、学力等の実態を視野に入れた授業設計の重要性を理解する。 ・理科授業での効果的なICT機器の活用法を理解する。 ・学習指導案の構成を理解し、具体的な授業の学習指導案を作成できる。 ・模擬授業とその振り返りを通して、授業改善の視点を身に付ける。	◎	○	◎
	初等音楽科指導法	・小学校学習指導要領音楽編の目標と領域、学年ごとの学習内容を理解する。 ・音楽科の授業構成論を学び、授業実践に向けた知識・技能を獲得する。 ・音楽科を取り巻く今日的課題について学び、あるべき方向性について自身の考えをもつ。	◎	○	◎
	図画工作科指導法	1. 図画工作科の授業目標が分かる。 2. 図画工作科の授業方法が分かる。 3. 図画工作科の授業内容が分かる。	◎	○	◎
	初等体育科指導法	体育科の指導内容を習得することができ、学習指導案の作成や模擬授業の実施を通して体育科の授業運営の仕組みや体育授業に必要とされる指導技術などを習得することができる。	◎	○	◎
	初等家庭科指導法	家庭科教育の歴史の変遷を踏まえた上で、小学校における家庭科の教育目標を理解する。 家庭科の教育内容を理解した上で、指導案の作成・実践へとつなげていくことができる。	◎	○	◎
	生活科指導法	生活科の理念を理解する。生活科の授業案を作成し、実践することのできる基礎を養う。	◎	○	◎
3	特別支援教育基礎論	国際的に求められているインクルーシブ教育を理解したうえで、現状の特別支援教育の理念や意義、および、そのシステムの概要を理解する。 ①障害という状態や概念について理解し、国際的に求められているインクルーシブ教育について理解する。 ②障害者差別解消法で規定される合理的配慮について理解する。 ③特別支援教育の理念、システムについての基礎的な事柄を理解する。 ④特別支援教育の対象となる障害の特性および基本的な支援の枠組みについて理解する。 ⑤障害はないが、特別的教育的ニーズのある子どもたちについて理解する。	◎	○	◎
	初等英語科指導法	【奥住】 ○外国語活動・外国語の指導に必要な基礎的な知識を身につける。 ○学習評価に関する知識をもとに、適切な指導・評価の計画を立てられるようにする。 【及川】 ○英語で授業を進める力の基礎を身につける ○英語の言語活動を作成できる	◎	○	◎
	教職入門 II	何のために教育活動(授業・教科外活動)を行なうのかについて、両者の関連について理解し、考察を深める。また、教育活動における教員の指導スキルを身につける。	◎	○	◎
	応用実習 I	・観察・参加・実習という方法で教育実践に関わることを通して、教育者としての愛情と使命感を深める。 ・将来教員になるうえでの能力や適性を考えとともに課題を自覚する。 ・実践的指導力を有する指導教員のもとで体験を積み、学校教員の実践を体験的・総合的に理解する。 ・教育実践ならびに教育実践研究の基礎的な能力と態度を身に付ける。	◎	○	◎
	基礎実習	指導案を作成し、模擬授業を実施する。	◎	○	◎
4	教職実践演習(小・中・高)	教職に関する基本的な理解を確かなものとし、教職現場における対人関係能力、児童生徒を理解し学級を運営する基本的な能力、および教科内容の理解とそれを活かした授業を構想し実現する力等、基本的な指導力に関する事項を身につける	◎	○	◎

教育部特別支援教育コース(専門科目)カリキュラムマップ	
養成人材	教職及び教科に関わる学問並びに芸術・スポーツ諸領域の総合的な研究及び教育を通して広く教育の発展に寄与し、主体的で豊かな人間性を基盤としつつ教職に必要な専門的な知識・技能を身につけた、理論及び実践の両面にわたる力量ある質の高い教員の養成
学位授与の方針	①専門的な深い知識の修得に関連する事柄 ○課程・コース・専修等ごとに定められた教育に関する専門的な知識・技能 教職に関する専門的な知識・技能 教科や専門分野に関する専門的な知識・技能 ②専門性のある幅広い基本的知識の修得に関連する事柄 ○教育の基盤となる基本的知識、態度、能力 日本国憲法に関する基本的な理解 心身の健康に関する基本的な理解と態度 人文学・社会科学・自然科学に関する幅広い理解 英語を用いて意思を疎通させる能力 情報リテラシーとプレゼンテーション能力 ③学部における人材養成の目的に合致した資質・能力の獲得に関連する事柄 ○力量のある教員に必要な知識・技能を活用できる能力 教科や専門分野に関する知識・技能を指導に生かすための方法的技術 教育実践を通じた子供理解と実践的指導力

	○教員に求められる人間性と社会性 教員としての使命感や責任感、教育的愛情 教員としての社会性や対人関係能力 社会貢献への強い意欲 学び続ける姿勢				
年次	授業科目	到達目標	教育目標1:教育 学部では、力量 のある質の高い 教員養成を主眼 とする。	教育目標2:教育 学部では、課程 専修分野ごとに 専門的教育を行 い、教職の専門 性と学問・文化 の専門性の両方 を修得させる。	教育目標3:卒業 要件として教員 免許の取得を必 修とし、教員免 許・資格の取得 に必要な教育課 程を編成する。
1	障害児の心理と指導	・心理機能の発達と障害に関連する要因を理解する ・心理機能(運動、コミュニケーション、認知)の発達過程を理解する ・障害のある子どもの心理機能の特徴を理解する ・障害のある子どもの発達支援の基礎的な考え方を理解する	◎	◎	○
2	障害児の心理生理学	知的障害児の心理・生理・病理学的特徴に加え、主要な合併症や併存症などの特徴も理解することができる。また知的障害児が状態像が多様であるために、認知・行動面の特徴の把握が重要であることを理解し、それらを把握する方法を身に付けることができる。加えて、得られた情報を家族や関連機関と共有することなどの連携が重要であることを理解することができる。	◎	◎	○
	障害児教育課程総論	・特別支援学校学習指導要領の特徴について理解する。 ・知的障害教育課程の特徴について理解する。 ・各種指導案を理解し、考察できるようにする。	◎	◎	○
	肢体不自由児の生理病理学	・肢体不自由の概略を理解する ・肢体不自由に関連する病理の基礎を理解する ・肢体不自由児の運動、コミュニケーション、認知の特徴と相互の関連を理解する ・肢体不自由児の発達支援に関する基礎的な考え方を理解する	◎	◎	○
	病弱児の心理生理学	・病弱児の心理・生理に関する特徴を理解し、説明することができる。 ・慢性疾患のある子どもの生活上の困難、支援について考察を深めることができる。	◎	◎	○
	肢体不自由児指導法	・肢体不自由児教育の概略を理解する ・肢体不自由児のための教育課程の特徴を理解する ・肢体不自由児のための教育支援の基礎を理解する ・肢体不自由児の教育実践の意味を理解できる	◎	◎	○
	病弱児指導法	病気のある子どもの疾病や心理特性をおおむね把握するとともに、病弱教育の概要を理解し教育的支援について考えることができる。	◎	◎	○
	視覚障害児教育総論	視覚障害児を対象とした教育は、国内の障害児教育の中でも長い歴史のある分野である。この授業では教育的評価や指導法を中心に視覚障害児教育の分野で蓄積されてきた内容を学び、理解を深めることを目的とする。具体的には以下の点を到達目標とする。 1. 視覚障害児教育の歴史的経緯を踏まえるとともに、この分野の最新状況や課題について理解する。 2. 教育分野における視覚障害の定義、視覚障害児の心理・行動特性について把握する。 3. 視覚障害児教育における指導法や評価手法についての理解を深める。	◎	◎	○
	重度・重複障害児の心理と指導	・重症心身障害児と重度・重複障害の概念を理解する。 ・脳障害に起因する感覚障害の特徴を理解し、それに基づく援助方法を考えることができる。 ・重症児のコミュニケーション発達とその評価方法を理解する。	◎	◎	○
	特別支援教育基礎実習	特別支援学校の状況や教員の業務内容を把握する。 特別支援教育応用実習に向け、必要な知識を身に付け、教育実習のための準備を行う。	◎	◎	○
	特別支援教育概論	・障害のある子どもを理解する上で必要な知識を身につける。 ・特別支援教育とインクルーシブ教育の関係を理解する。 ・特別支援教育の現状と課題を理解する。	◎	◎	○
3	知的障害児指導法	1)教育課程が、障害による学習上又は生活上の困難を改善・克服する力の育成を目指すために編成されていることを理解することができる。また特別支援学校の教育実践並びに各学部や各段階のつながりを踏まえた教育課程や、教科や自立活動などの独自の教育課程の内容とその編成方法、そしてカリキュラム・マネジメントの考え方を理解することができる。 2)各教科等の指導における配慮事項について理解するとともに、自立活動および自立活動の指導と関連付けた具体的な授業場面を想定した授業設計を行う方法を理解することができる。またICTの活用や環境調整、学習指導案の作成方法など、より効果的な授業設計を行う方法についても理解することができる。	◎	◎	○
	障害児のアセスメント	1) 観察や検査を通して知的障害のある幼児、児童又は生徒一人一人の知的障害の状態や適応行動の困難さ及び認知の特性を把握することを理解している。 2) 家庭や医療機関との連携の重要性について理解している。	◎	◎	○
	特別支援教育演習IA	・特別支援教育の理念や政策、制度、並びにインクルーシブ教育に関するこれまでの研究成果を理解する。 ・先行研究を踏まえた適切な発表資料を作成できる。 ・自分の意見を整理し、議論できる。	◎	◎	○
	特別支援教育演習IB	・特別支援教育に関する現代的教育課題を理解する ・特別な教育的支援を必要とする児童生徒の特性理解に関する心理学的知見を理解する ・特別な教育的ニーズのある児童生徒の教育支援に関する最新の知見を理解する	◎	◎	○
	特別支援教育演習IC	知的障害等の特性とそれらを踏まえた指導のあり方に着目し、教育学・心理学領域の研究知見に関する基本的な考え方を身に付けることを目標とする。	◎	◎	○
	特別支援教育演習ID	定型発達児や知的障害児、発達障害児を対象とした心理学実験を行えるようになること。また実験によって収集されたデータに基づいて、発達や障害の特徴について説明できるようになること。	◎	◎	○

4	特別支援教育演習 IIA	・特別支援教育の理念や政策、制度に関する最新の知見を踏まえ、教育学に関する知識を活用して特別支援教育の課題を解決する力を高める。 ・インクルーシブ教育を念頭に、特別支援教育体制の整備や充実に向けた課題を分析し、実践との連関を意識しながら、解決の方向性を考察する力を高める。 ・障害をはじめとする要支援の子どもたちの発達保障の観点から、特別支援教育の関連領域における現状と課題を分析し、課題解決の方向性を考察する力を高める。 ・先行研究の到達点と課題を踏まえ、自身の研究課題を明確化した適切な発表資料を作成できる。 ・他者の発表に対して批判的な思考をもってコメントできる。	◎	◎	○
	特別支援教育演習 IIB	・特別支援教育に関する現代的教育課題を理解する ・特別な教育的支援を必要とする児童生徒の特性理解に関する心理学的知見を理解する ・特別な教育的ニーズのある児童生徒の教育支援に関する最新の知見を理解する ・特別支援教育の現代的教育課題を解決する方法論を考察する	◎	◎	○
	特別支援教育演習 IIC	知的障害等の特性とそれらを踏まえた指導や教育課程に着目し、知的障害児教育の実践上の課題を分析し、解決の方向性を考察する力を養うことを目標とする。	◎	◎	○
	特別支援教育演習 IID	定型発達児や知的障害児、発達障害児を対象とした心理学実験を行うこと。また収集したデータを統計解析し、その結果の解釈ができるようになること。そして、これらを踏まえて、発達や障害の特徴について説明できるようになること。	◎	◎	○
	卒業研究(論文)	特別支援教育に関する現代的教育課題を解決するための方法を、教育学的、心理学的立場から他面的に考察し、まとめる力を身に付ける	◎	◎	○